

11	オリンピック・パラリンピック準備局	障害者スポーツの振興
事業概要	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」（平成24年3月策定）に基づき、障害のある人もない人も、誰もがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指して、地域での環境整備を重点に据えながら、障害者スポーツの情報発信・普及啓発や障害者スポーツへの取組体制の強化も着実に促進するとともに、東京2020パラリンピックに向け、競技団体の基盤強化や選手の競技力向上策に取り組んでいる。</p>	
これまでの経過	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、以下の「3つの視点」により事業を実施してきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 都内の障害者スポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を運営。</li> <li>(2) 障害のある人もない人も共に楽しめる参加体験型スポーツイベント「チャレスポ！TOKYO」の開催</li> </ol> </li> <li>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害者スポーツ事業のノウハウを持つ地域開拓推進員が、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援することで、身近な地域でスポーツを楽しめる環境を創出</li> <li>(2) 区市町村職員やスポーツ推進委員等を対象にセミナーを開催し、地域の障害者スポーツ事業を支える人材の育成を図るとともに、障がい者スポーツ指導員養成講習会を通じて障害者スポーツの現場で実際に指導・支援にあたる人材を養成し、地域における障害者スポーツの取組を促進</li> </ol> </li> <li>3 障害者スポーツへの取組体制を強化       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化</li> <li>(2) 東京都障害者スポーツ大会を実施すると共に、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、全国障害者スポーツ大会へ派遣</li> </ol> </li> </ol>	
現在の進行状況	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、障害者スポーツの理解促進・普及啓発、障害のある人が身近な地域でスポーツをする場の拡大、障害者スポーツを支える人材の育成に取り組むとともに、選手の競技力向上、障害者スポーツ競技団体の強化に取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進       <p>障害者スポーツの躍動感あふれる映像や、障害者アスリートのインタビューなど、障害者スポーツの魅力を伝える映像「Be The HERO」を作成し、障害者スポーツの一層の理解促進と普及啓発に取り組んでいる。</p> </li> <li>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備       <p>建設から30年近くが経過し、施設の老朽化が著しい東京都障害者総合スポーツセンター及び東京都多摩障害者スポーツセンターについて、劣化診断結果や利用者ニーズ等を踏まえ、改修に向けた設計等に取り組んでいる。また、障害のある人のスポーツ施設利用に際して、施設管理者が配慮すべき点等をまとめた「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を作成したほか、区市町村が主体的に取り組む障害者スポー</p> </li> </ol>	

	<p>ツ事業の支援をすることにより、身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境の拡大・整備に取り組んでいる。さらに、区市町村等が実施する障害者スポーツ事業の情報を収集し、障がい者スポーツ指導員等に対して、情報誌『S&amp;S』として定期的に情報提供を行っているほか、活動経験が少ない、又は活動にブランクがある指導員等を対象とした「リ・スタート研修会」及び障がい者スポーツ指導員等が一堂に会する「障害者スポーツフォーラム」を開催し、障害者スポーツを支える人材の活動活性化を図っている。</p> <p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化</p> <p>パラリンピック等の国際舞台で活躍する東京ゆかりの選手を輩出するため、「パラリンピック選手発掘プログラム」を実施し、アスリート志向者を発掘するとともに、東京都における障害者競技団体の自主的な活動を拡充させ、選手の競技力向上を図ることを目的として、競技団体を対象に助成を行っている。</p>		
<p>今後の見通し</p>	<p>1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進</p> <p>東京 2020 パラリンピックを4年後に控え、障害者スポーツの更なる振興を図るため、テレビ等のメディアを通じて障害者スポーツの魅力を発信する観戦促進事業の実施や、障害のある人もない人も共に楽しめるスポーツイベント「チャレスポ! TOKYO」を拡充して開催する。</p> <p>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備</p> <p>「障害者スポーツコンシェルジュ」を設置し、障害者スポーツの支援に取り組む企業と競技団体や選手をつなぐ取組を行っていく。さらに、「障害者スポーツ推進協議会（障害者スポーツの環境整備に向けた実務者会議）」を設置し、地域における障害者スポーツの環境整備に向けた連絡調整を図っていく。</p> <p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化</p> <p>選手の試合機会の増加や競技団体の大会運営力の向上を図るため、都内でIPC公認大会開催に取り組む競技団体を支援する。さらに、東京 2020 大会を契機とした盛り上がりを一過性とするこのないよう、障害者スポーツの競技力向上に継続的に取り組んでいく。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課</p>	<p>電話</p>	<p>(東京都障害者スポーツセンターの改修に関すること) 03-5320-7802</p>
	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部障害者スポーツ課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7729</p>